

## ◆ 選考委員会における審議の様相 ◆

令和四年度「人事院総裁賞」受賞者を決定するに当たり、各界有識者から成る選考委員会を令和四年二月二〇日（火）に開催しました。  
受賞者・受賞部門についての選考委員会における御意見等を紹介します。

### 林野庁 近畿中国森林管理局

#### 計画保全部 保全課 保護係長

小林 正典氏

○ 対策が難しい社会的課題に解決策の一つを提案し実行し、成果をあげている点を評価したい。

○ 農林業に携わる方々にとって大変重大な問題を当事者の立場で解決法を見つけ、全国に波及するなど、その活動と開発した技術は多くの人の役に立った。

○ 野生鳥獣による農作物被害という大きな課題に対し、自分で様々な工夫を考え、初心者でも設置できる方法を生み出し、さらに全国に普及させた活動は大変素晴らしい。

### デジタル庁

#### 国民向けサービスグループ

VRSチーム

○ 国民全体のインフラとなるワクチン接種記録システム（VRS）を開発・運用

したことによる恩恵者の規模・その迅速性を評価したい。

○ VRSが公益に寄与したことはもちろんのこと、その開発スピードと開発体制が特筆に値する。

○ コロナの影響を最小に抑えるべく、VRSを迅速に開発・運用し、円滑なワクチン接種とそのデータ活用に大きく貢献したことは高く評価できる。

### 法務省 広島刑務所

#### 尾道刑務支所

有井 構外 泊込 作業場

○ 開放的処遇施設における職員の方々の精神的・稼働的緊張感と労力は相当なもの。覚悟を持って受刑者の社会復帰を支えられている取組を評価したい。

○ 再犯を防ぐためにも、社会から受容されるのが重要であり、地域社会との信頼関係の構築のあり方も、社会全体への良い影響が期待される。  
○ 緊張を強いられる環境下で五〇年無事故で職務を全うしていることを評価したい。

### 農林水産省 農産局 園芸作物課

#### 花き振興グループ

○ 様々な困難を乗り越えて国内外に多く



▲ 佃委員長



▲ 石戸委員



▲ 粟飯原委員



▲ 所委員

の笑顔を届けた。国内外のメディアに多数取り上げられることで、国内花き産業の振興のみならず、日本のおもてなしの質の高さ、日本の文化の海外発信にも大きく寄与した。

○ 真夏の開催という悪条件にもかかわらず、東日本大震災被災地の花きを使用したビクトリーブーケをはじめとした国産花きの活用を実現し、日本のイメージアップにも貢献したことは高く評価できる。

○ 無観客など厳しい制限の中の開催となった異形の五輪で、ビクトリーブーケは彩りを添えた。猛暑下で生花を贈ろうとした関係機関の尽力と連携に敬意を表したい。



▲中江委員



▲橋詰委員



▲宮島委員

### 気象庁 大気海洋部

#### 業務課 父島気象観測所

○ 小笠原諸島の一角である父島は東京都でありながらアクセスは遠い。海に囲まれ、津波や台風が起きると、大きな影響を受ける可能性があるが、貴重な気象データの収集場所でもあり、そのデータが住民の命を守ることもつながらる。

○ 厳しい環境の中で、公務を誠実に遂行し、国民の生活と安全に貢献することは、公務員の存在として最も重要であり、信頼の源である。苦勞をしながら長年にわたり貴重な観測データを提供し、公務の信頼の確保と向上に寄与しており、受賞にふさわしい。

○ 台風の進路予測など最前線で日本の本土を守っている努力を高く評価する。

### ■令和4年度人事院総裁賞選考委員会委員■

- |        |  |
|--------|--|
| 栗飯原理咲  | アイランド株式会社代表取締役                         |
| 石戸奈々子  | NPO法人CANVAS理事長、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究所教授  |
| ◎ 佃 和夫 | 三菱重工業株式会社名誉顧問                          |
| 所 千晴   | 早稲田大学理工学術院創造理工学部／研究科教授、東京大学大学院工学系研究科教授 |
| 中江 有里  | 作家・女優                                  |
| 橋詰 邦弘  | 共同通信特別論説委員                             |
| 宮島 香澄  | 日本テレビ報道局解説委員                           |

(五十音順、敬称略。◎は委員長)

